書式第１２号（法第２８条関係）

令和２年度　事業報告書

令和２年４月１日から令和３年３月31日まで

特定非営利活動法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

1．事業の成果

A　環境教育の事業

A.1　環境教育プログラム研究開発・実践活動・発信活動

A.1.1 環境教育プログラムの研究開発

- 年間９回開催した環境学習体験会（プログラムづくりワークショップ）を軸に環境教育のプログラムづくりが進められた。内容は以下の通り。

2020 年度環境学習体験会（プログラムづくりワークショップ）

04 月 26 日（日）　ネイチャーゲーム体験「はじめまして」「私は誰でしょう」
・オンラインでできる自然体験に挑戦しよう。

05 月 24 日（日）　プログラム体験「水となかよし」「風となかよし」
・オンラインで水の循環体験ゲームと工作を体験しよう。

06 月 28 日（日）　プログラム体験「綿から糸を紡ごう」
・オンラインで糸から布をつくるプログラムを体験しよう。

07 月 26 日（日）　紙芝居づくり体験「フワフワちゃんとコロコロちゃんの歌」
・オンラインで紙芝居のイラストの方向性を検討しよう。

09 月 27 日（日）　紙芝居づくり体験「フワフワちゃんとコロコロちゃんの歌」
・オンラインで持ち寄った紙芝居の検討をしよう。

10 月 25 日（日）　プログラムづくり体験「食品ロスを考えよう」
・オンラインで食品ロスのプログラムづくりを始めよう。

11 月 22 日（日）　プログラムづくり体験「食品ロスを考えよう」
・食品ロスを紹介する資料を検討しよう。

01 月 24 日（日）　プログラムづくり体験「食品ロスを考えよう」
・オンラインで食品ロスを紹介する資料をつくろう。

02 月 28 日（日）　プログラムづくり体験「食品ロスを考えよう」
・オンラインで食品ロスを紹介する資料をつくろう。

＜ワークショップの実施風景・制作物＞



6 月 28 日　環境学習体験会
オンラインでの糸紡ぎ体験



5 月 24 日　環境学習体験会
オンラインでの水の循環体験ゲーム



紙芝居「フワフワちゃんと
コロコロちゃんの歌」

環境学習体験会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で 11 月を除き全てオンラインでの開催となった。そのため広く参加者を求めていく形態ではなく、東京家政大学 宮地ゼミとの連携を基本に、既存の環境学習プログラムの紹介、紙芝居などの教材づくり、そして 3 月に行う食品ロスに関する学習会の準備をワークショップ形式で実施した。計 9 回の活動に 152 人（うちスタッフ 43 人）が参加し、活発な議論が行われた。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	**2020**
回数	-	-	-	-	-	-	-	7	8	6	8	7	6	**9**
参加者数	-	-	-	-	-	-	-	74	82	74	166	101	82	**152**
1回あたり	-	-	-	-	-	-	-	10.6	10.3	12.3	20.8	14.4	13.7	**16.9**

本活動を通じては、「フワフワちゃんとコロコロちゃんの歌」の紙芝居も作成した。教材の洗練化や新たなプログラム案の検討の場としては広がりがみられたものの、オンライン形式での開催に際して、他大学の学生や社会人の参加者募集については断念をした経緯があり、今後の展開としては課題を残した。

- 一昨年度より実施している環境学習プログラム研究会は、臨機応変に実施できるプログラム開発の場となった。計 5 回の活動に 27 人が参加した。今後、現役の教員などの参加が増える活動へと推移させていきたい。
- 保育園向けプログラム開発は、出張授業数の増加にあわせた洗練化が主となった。保育園で主に行っているプログラムは以下の通り。

	自然体験活動分野　ほか		
	導入アクティビティ	紙芝居型プログラム	その他アクティビティ
保育園	キロリのおにごっこ コウモリとガ　※ 落ち葉じゃんけん　※ 音いくつ　※	いも虫のたからぶくろ 木の精キロリのひみつのいのり どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ はらっぱのかくれんぼ大会 風となかよし 森と子どものひみつ作戦 （木の表情ってどんなだろ） 土のこびと	同じものはどこにある 花と葉っぱでファッションショー

※ネイチャーゲーム アクティビティ を利用した活動

- 小学校でのプログラム開発は、研究会でのプログラム検討が主となった。小学校で行っているプログラムは以下の通り。

		自然体験活動分野	食と暮らし分野	自然エネルギー分野（地球環境問題含む）
小学校	低	季節の自然で遊ぼう		風となかよし
	中	好きな色はどこにある そっとのぞいて見てみよう 学校の木を決めよう ヤゴ救出大作戦	大豆ってすごいぞ 学校産のとうふを作ろう 手前みそを作ろう 綿を育てよう 綿から糸を紡ごう 地球温暖化を知ろう（コンポスト）	お日さまとなかよし 水となかよし
	高	わたしの木・ぼくの木	食べものはどこから ペットボトルの水	放射線から身体を守る生活の仕方 エネルギー源を考える
中学校			旬の野菜を調べよう ※要改定	50年後の板橋を考えよう

特に重点的に扱ったのは「板橋のまちづくり」に関するプログラムで、これまで「50年後の板橋を考えよう」で扱っていた板橋の自然環境や温暖化に関する情報に加えて、食に関する視点を加えた「住み続けたいいたばしをつくろう」のプログラムづくりを進めている。

- ニュース発送作業を兼ねた定例のワークショップも継続的に実施した。9回の活動で、延べ55人の参加があった。1回あたりの参加者は6.1人となり、昨年の6.7人から若干減となった。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
回数	-	-	17	14	18	22	22	17	13	13	11	11	11	9
スタッフ数	-	-	134	85	91	115	108	98	88	73	68	63	74	55
1回あたり	-	-	7.9	6.1	5.1	5.2	4.9	5.8	6.8	5.6	6.2	5.7	6.7	6.1

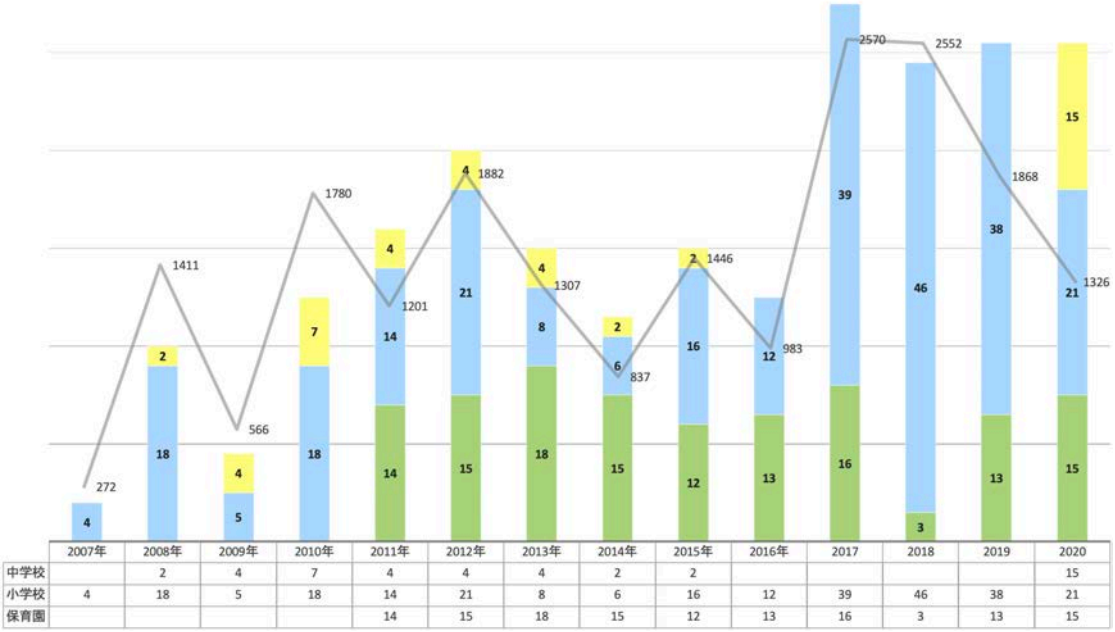
A.1.2 環境教育プログラムの発信活動

- 2015年に出版した「みんなワクワク どんどん使える センスオブアースの環境教育実践集」の販売に関しては課題が残った。
- HP版プログラムバンクを適宜更新した。
- 環境教育プログラムに関する資料の作成が滞り、情報発信には課題を残した。

A.1.3 環境教育プログラムの実践活動

- 18の保育園・小学校で、年間51回（うち2回が部活動）の出張授業を実施した。1,326人（うち25人が部活動）の園児・児童・生徒に環境教育の機会を提供することができた。この結果、これまでの累計で、444回の授業を実施し、その対象人数は20,001人となった。昨年度と比較し、回数は昨年とほぼ並ぶ数だったものの、学級単位での授業が増えたことで対象者数は昨年から減少した。

  2017年度から始まったエコポリスセンターからの委託事業により、上記51件のうち40件がエコポリスセンターとの協働であった。

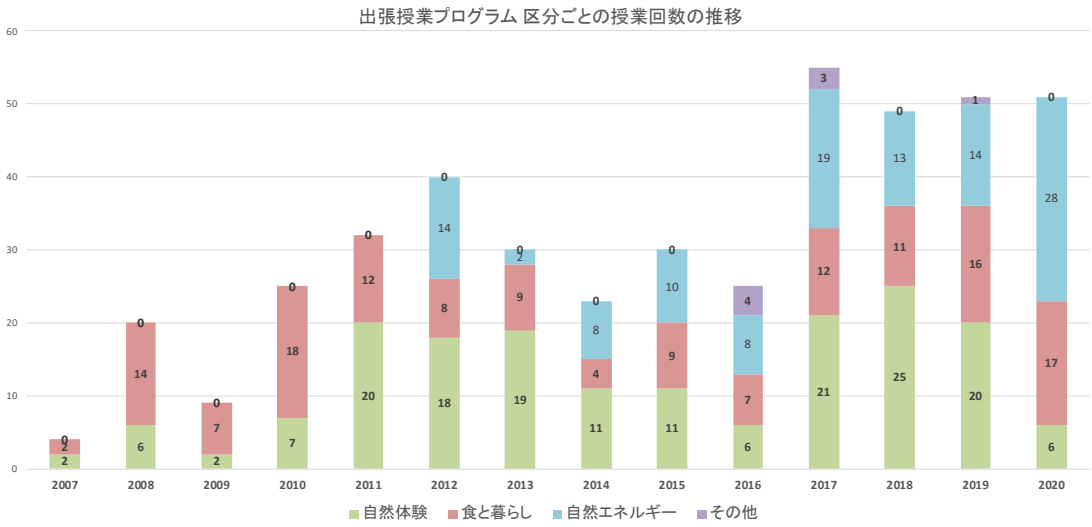


	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017	2018	2019	2020
中学校		2	4	7	4	4	4	2	2					15
小学校	4	18	5	18	14	21	8	6	16	12	39	46	38	21
保育園					14	15	18	15	12	13	16	3	13	15

プログラムの内訳では、自然エネルギー分野（地球温暖化などの地球環境問題含む）で人気の「風となかよし」が継続して保育園・小学校で多く実践された。また中学校での出張授業が増えたことで、「環境負荷の少ないエネルギー源を考えよう」「50 年後の板橋を考えよう」の授業数が増え、分野としてもその割合を増やすこととなった。

食と暮らし分野での「綿を育てよう」「大豆ってすごいぞ」の栽培に向けたプログラムに関して、種や苗の配布を案内したところ多くの連絡があり、収穫後の「綿から糸を紡ごう」を含めて、新型コロナウイルス拡大下においても多く実践された。

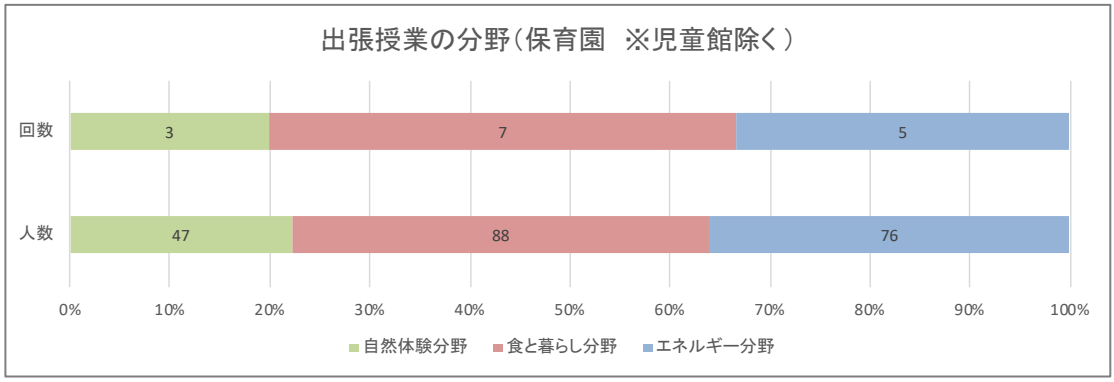
自然体験活動分野は、新型コロナウイルスの影響もあり件数を減少させた。



- 保育園における取り組みは、6 園で計 15 回に及び、その対象者数は 211 人となった。保育園での実践の内訳は以下の通り。

日付	保育園・幼稚園名	対象（人数）	プログラム名	備考
06月02日	板橋区立赤塚保育園	5歳児（20人）	どんぐりコロコロ お山おおさわぎ	中止
06月09日	板橋区立志村橋保育園	5歳児（15人）	綿を育てよう	
06月18日	板橋区立こぶし保育園	4歳児（10人）	大豆ってすごいぞ	
06月18日	板橋区立こぶし保育園	5歳児（13人）	大豆ってすごいぞ	
06月30日	板橋区立こぶし保育園	4歳児（10人）	綿を育てよう	
07月16日	やまと保育園	5歳児（16人）	風となかよし	
07月20日	やまと保育園	4歳児（10人）	風となかよし	
09月08日	南前野保育園	5歳児（22人）	風となかよし	中止
10月27日	ほっぺるランド成増	5歳児（15人）	風となかよし	
10月29日	ほっぺるランド成増	4歳児（15人）	風となかよし	
11月05日	ほっぺるランド成増	3歳児（14人）	花と葉っぱでファッションショー	
11月19日	板橋区立赤塚保育園	4歳児（20人）	風となかよし	
11月26日	板橋区立志村橋保育園	5歳児（15人）	綿から糸を紡ごう	
01月19日	板橋区立こぶし保育園	4歳児（12人）	綿から動物の絵をつくろう	
01月21日	板橋区立こぶし保育園	5歳児（13人）	綿から動物の絵をつくろう	
02月04日	はぁもにい保育園	5歳児（20人）	手前みそをつくろう	中止
03月17日	板橋区立こぶし保育園	5歳児（13人）	いもむしのたからぶくろ	
03月23日	キッズタウン向原保育園	5歳児（20人）	どんぐりコロコロ お山おおさわぎ	

プログラムの内訳では、食と暮らし分野で「綿を育てよう」「大豆ってすごいぞ」の栽培に向けたプログラムと、綿を育てた後の「綿から糸を紡ごう」「綿で動物の絵を描こう」で合計７回の授業を行った。そのほか、自然エネルギー分野の「風となかよし」が６回のほか、自然体験活動分野の「どんぐりコロコロ　お山はおおさわぎ」「いもむしのたからぶくろ」、新規プログラム「花と葉っぱでファッションショー」が１回ずつとなった。



保育園では、１園（私立）で新たな実践を行った。その結果、対象となった保育園・幼稚園は６園（区立３園・私立３園）であった。区立保育園（公設民営含む）・区立幼稚園全42園に対して、これまでの活動を総合すると、31園で授業を実践しており、その広がりは約74%に至っている。

相生	赤塚	赤塚新町	あさひが丘	板橋	大谷口
かないくぼ	上板橋	紅梅	小桜	さかうえ	坂下三丁目
志村橋	新河岸	高島平あやめ	高島平くるみ	高島平けやき	高島平さつき
高島平すみれ	高島平つくし	高島平つばみ	高島平もみじ	東新	ときわ台
中板橋	西台	西前野	蓮根	緑が丘	みなみ
南前野	向台	向原	弥生	ゆりの木	若木
こぶし	にりんそう	高島幼稚園	新河岸幼稚園		
2020年度 実施		2020年度 新規開拓		過去の実施	

※ 2020年度実施の やまと保育園・ほっぺるランド成増・キッズタウン向原保育園 は私立保育園（下線は新規開拓園）
※ 過去実施の ひまわりキッズガーデン城山・ひまわりキッズガーデン大原・栄町保育園・志村さかした保育園・麦の子保育園・つつじ保育園・大山西町保育園・仲宿保育園・第二たつのこ保育園・ほっぺるランド大谷口・さくらさくみらい中板橋 は私立保育園

＜保育園での授業風景＞



11 月 5 日　出張授業
「花と葉っぱでファッションショー」



11 月 19 日　出張授業
「どんぐりコロコロ お山はおおさわぎ」



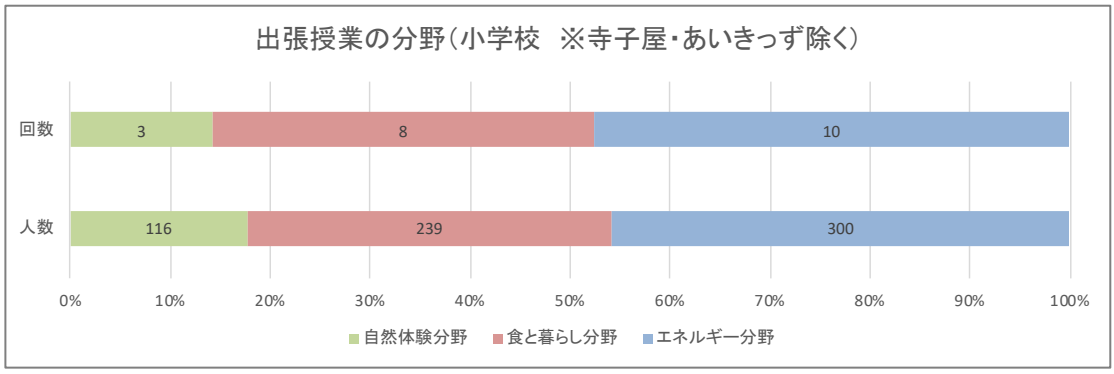
11 月 26 日　出張授業
「綿から糸を紡ごう」

- 小学校における取り組みは、7 校で計 21 回に及び、その対象者数は 655 人となった。今年度は寺子屋での指導はなかった。小学校での実践の内訳は以下の通り。

日付	学校名	対象（人数）	プログラム名	備考
06月11日	板橋区立高島第五小学校	3年生（45人）	綿を育てよう	中止
07月07日	板橋区立上板橋小学校	3年生・5組（59人）	手前みそをつくろう	中止
07月07日	板橋区立中台小学校	4年1組（20人）	50年後の板橋を考えよう	中止
07月09日	板橋区立中台小学校	4年2組（21人）	50年後の板橋を考えよう	中止
09月30日	板橋区立上板橋小学校	4年1組（35人）	そっとのぞいてみてみよう	
10月12日	板橋区立志村第二小学校	3年2組（29人）	風となかよし（中学年版）	
10月16日	板橋区立志村第二小学校	3年1組（29人）	風となかよし（中学年版）	
10月19日	板橋区立志村第二小学校	3年3組（29人）	風となかよし（中学年版）	
10月21日	板橋区立高島第五小学校	3年生（45人）	そっとのぞいてみてみよう	
10月22日	板橋区立富士見台小学校	3年1組（38人）	風となかよし（中学年版）	
10月22日	板橋区立富士見台小学校	3年2組（39人）	風となかよし（中学年版）	
11月09日	板橋区立志村第二小学校	3年2組（29人）	綿から糸をつむごう	
11月12日	板橋区立富士見台小学校	4年1組（30人）	水となかよし	
11月12日	板橋区立富士見台小学校	4年2組（30人）	水となかよし	
11月13日	板橋区立志村第二小学校	3年1組（29人）	綿から糸をつむごう	
11月17日	板橋区立志村第二小学校	3年3組（29人）	綿から糸をつむごう	
12月01日	板橋区立板橋第二小学校	1年1組（35人）	風となかよし	
12月02日	板橋区立成増小学校	3年1組（36人）	綿から糸をつむごう	
12月04日	板橋区立成増小学校	3年2組（36人）	綿から糸をつむごう	
12月05日	板橋区立中台小学校	4年1組（20人）	水となかよし	
12月05日	板橋区立中台小学校	4年2組（21人）	水となかよし	
12月07日	板橋区立成増小学校	3年3組（35人）	綿から糸をつむごう	
12月17日	板橋区立高島第五小学校	3年1組（23人）	綿から糸をつむごう	
12月17日	板橋区立高島第五小学校	3年2組（22人）	綿から糸をつむごう	
12月21日	板橋区立板橋第二小学校	1年1組（36人）	木の表情ってどんなだろ	

プログラムの内訳では、自然エネルギー分野では、「風となかよし」が 6 回、「水となかよし」が 4 回で、分野別では最多の計 10 回となった。

食と暮らし分野では「綿から糸を紡ごう」を 8 回実施したほか、自然体験活動分野の「そっとのぞいてみてみよう」を校庭とバッタ広場で 1 回ずつ、「木の表情ってどんなだろ」を 1 回行った。



小学校では、板橋区内 1 校で新たな実践を行った。その結果、対象となった小学校は計 7 校（いずれも板橋区内）であった。区内小学校に関して、これまでの活動を総合すると、45 校で授業を実践しており、その広がりは約 87%に至っている。

志村	志村第一	志村第二	志村第三	志村第四	志村第五
志村第六	前野	中台	舟渡	新河岸	富士見台
蓮根	蓮根第二	志村坂下	北前野	緑	若木
板橋第一	板橋第二	板橋第四	板橋第五	板橋第六	板橋第七
板橋第八	板橋第十	金沢	中根橋	加賀	上板橋
上板橋第二	上板橋第四	常盤台	桜川	弥生	大谷口
向原	赤塚	成増	赤塚新町	紅梅	北野
成増ヶ丘	下赤塚	徳丸	三園	高島第一	高島第二
高島第三	高島第五	高島第六	天津わかしお		

2020年度 実施	2020年度 新規開拓	過去の実施

＜小学校での授業風景＞



10 月 21 日 出張授業
「そっとのぞいてみてみよう」



12 月 1 日 出張授業
「風となかよし」

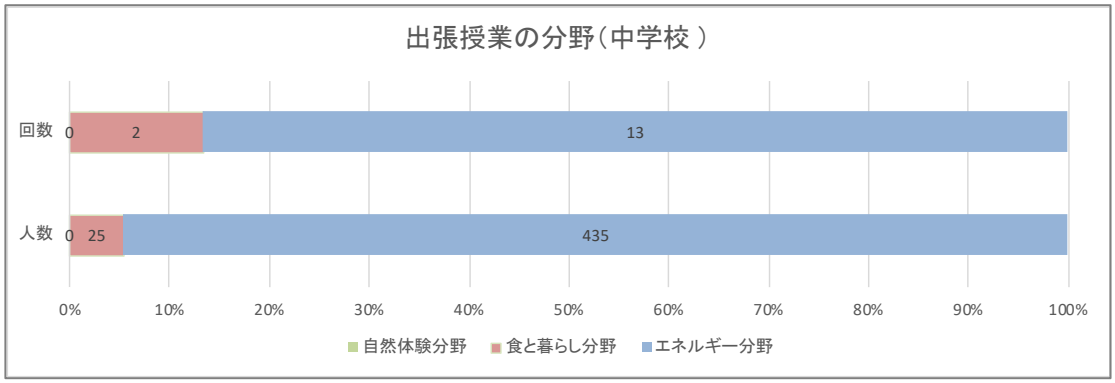


12 月 4 日 出張授業
「綿から糸を紡ごう」

- 中学校における取り組みは、2015 年度以来 5 年ぶりで、5 校で計 15 回（うち 2 回が部活動）に及び、その対象者数は 460 人（うち 25 人が部活動）となった。中学校での実践の内訳は以下の通り。

日付	中学校名	対象（人数）	プログラム名	備考
05月14日	板橋区立上板橋第三中学校	特別支援学級（22人）	大豆ってすごいぞ	中止
05月19日	板橋区立上板橋第三中学校	特別支援学級（22人）	綿を育てよう	中止
12月24日	板橋区立志村第一中学校	科学部（10人）	手前みそをつくろう	
02月15日	板橋区立中台中学校	ボランティア部（15人）	綿から糸をつむごう	
02月26日	板橋区立高島第一中学校	9年1組（32人）	環境負荷の少ないエネルギーを考えよう	
02月26日	板橋区立高島第一中学校	9年2組（32人）	環境負荷の少ないエネルギーを考えよう	
03月01日	板橋区立高島第一中学校	9年3組（32人）	環境負荷の少ないエネルギーを考えよう	
03月01日	板橋区立高島第一中学校	9年4組（32人）	環境負荷の少ないエネルギーを考えよう	
03月04日	板橋区立加賀中学校	9年1組（34人）	50年後の板橋を考えよう	
03月04日	板橋区立加賀中学校	9年2組（34人）	50年後の板橋を考えよう	
03月08日	板橋区立西台中学校	9年1組（35人）	50年後の板橋を考えよう	
03月08日	板橋区立西台中学校	9年2組（35人）	50年後の板橋を考えよう	
03月08日	板橋区立西台中学校	9年3組（34人）	50年後の板橋を考えよう	
03月09日	板橋区立西台中学校	9年4組（34人）	50年後の板橋を考えよう	
03月09日	板橋区立西台中学校	9年5組（34人）	50年後の板橋を考えよう	
03月11日	板橋区立加賀中学校	9年3組（34人）	50年後の板橋を考えよう	
03月11日	板橋区立加賀中学校	9年4組（33人）	50年後の板橋を考えよう	

プログラムの内訳では、自然エネルギー分野で「50 年後の板橋を考えよう」で 9 回、「環境負荷の少ないエネルギー源を考えよう」4 回の授業を行った。そのほか、部活動で食と暮らし分野の「綿を育てよう」「大豆ってすごいぞ」を各 1 回行った。



＜中学校での授業風景＞



12 月 24 日 出張授業
「手前みそをつくろう」



2 月 15 日 出張授業
「綿から糸を紡ごう」



3 月 1 日 出張授業
「環境負荷の少ないエネルギー…」

- 高等学校では、本年度、出張授業の取り組みは行わなかった。
- これらは、SOE のメンバーが中心になりながら、ボランティアに支えられて成り立っている。今年度は 51 回の活動で、延べ 194 人が参加した。1 回あたりの参加者は 3.8 人で、昨年と比べ微減となった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大学生ボランティアの募集に難しさがあったが、より一層のスタッフの充実が求められる。

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	**2020**
回数	5	23	10	28	34	41	31	23	30	20	55	49	51	**51**
スタッフ数	-	-	54	130	147	179	98	73	88	53	206	183	203	**194**
1回あたり	-	7.4？	5.4	4.6	4.3	4.4	3.2	3.2	2.9	2.7	3.7	3.7	4.0	**3.8**

A.2 環境教育指導者（主体）養成事業

A.2.1 環境教育ボランティア・インターンシップ

- 新型コロナウイルスの影響で新規の募集に関して積極的に行うことはできなかったが、SOE ニュースの読者として活動を知った方からの新規活動参加応募があった。

A.2.2 地域主体の支援（プログラムの共同開発ほか）

- 大学のゼミ活動など、環境教育の地域における担い手を育成する事業を継続する。本事業年度は、東京家政大学の宮地ゼミの支援が中心となり、食品ロスに関する講演会・勉強会のほか、オンラインでの学園祭なども支援した。

A.2.3 教員養成・教員向けの講座

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

A.3　環境教育協働推進事業（環境教育ネットワーク構築活動）

A.3.1 環境教育協働実践

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

A.3.2 プログラムの共同開発

- 寺田が板橋区環境教育プログラム部会に参加。環境教育のプログラム研究開発に携わるとともに、センスオブアースの環境教育プログラムを周知する。

B　環境保全の事業

B.1　自然環境保全活動

B.1.1 ビオトープ保全活動

- 蓮根第二小学校のビオトープについて、引き続き、定例の保全活動に参加した。

B.1.2ごみ拾い活動

- 全国一斉水質検査に参加し、新河岸大橋・浮間池の２か所の検査を行った。

B.1.3 緑地の保全・拡張に向けた活動

- 北野がいのちの森の運営委員として関わる。

B.2　地産地消推進活動

B.2.1 栽培活動

- 柳が中心に大豆・棉の栽培を進め、収穫物を出張授業・イベントへと活用した。

B.3　自然エネルギー推進活動

B.3.1 自然エネルギー普及活動

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C　社会教育の事業

C.1　エコツアー事業

C.1.1 沖縄・備瀬エコツアー

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.1.2 三宅島エコツアー

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.2　自然観察会・各種環境講座

C.2.1 自然観察会

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

C.2.2 環境講座

- 【3.11 から未来をひらく会】の一員としては、昨年度に続き新型コロナウイルスの影響で例年３月に行っていた映画上映会は実施しなかった。一方で、エネルギーに関する知見を深め、今後の団体の方向性を考える機会として、11 月 14 日に国際環境 NGO FoE Japan 理事の吉田明子氏をお招きしての講演会「電気の素を考えよう」を開催した。
- 3 月 21 日に東京家政大学宮地ゼミの学生とともに、食品ロスに関する講演会「各国の食品ロス対策」を実施。講師には食ジャーナリストの小倉正行氏をお迎えした。講演のほか、宮地ゼミの学生が環境学習体験会での学びを生かして、5 つのテーマで現状や各国の対策など報告を行った。一般市民・学生あわせて 35 人が参加した。

C.3　各種イベント出展

C.3.1 イベント向けプログラム研究開発

- イベントのテーマや環境などを踏まえ、随時プログラムの準備を進めた。

C.3.2 外部イベント出展

- 4月に代々木公園でのアースデイと並行して開催しているアースデイいのちの森に関して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベントが中止となった。
- 11月に子育てサークル交流会が主催する第32回 すくすくまつり(オンライン開催)に参加。東京家政大学の学生と連携し、紙芝居の読み聞かせを行なった。カラス

C.3.3 板橋区協働イベント出展

- 例年出展していた板橋区（緑と公園課）主催のグリーンフェスタは新型コロナウイルスの影響で中止となった。
- 8月19日にエコポリスセンターが主催する夏休みエコスクールに出展。「風となかよし～かざぐるまで電気をおこそう～」というタイトルで、かざぐるまを活用した風力発電機づくりを実施した。
- 2月に環境なんでも見本市（オンライン開催）に出展。紹介文や活動写真、紙芝居を紹介する動画をホームページに掲載した。北野が実行委員長を務めた。

C.4　板橋区指定管理者受託

C.4.1 板橋区立ボローニャこども絵本館管理業務委託

- 平成30年度をもって、委託事業は終了となった。

D　団体運営業務

D.1　組織運営

D.1.1 一般管理

- 7月に2020年度の年次総会を開催。活動報告・会計報告・活動方針・会計方針について報告し承認を得る。

D.1.2 理事・事務局関連

- 運営体制の強化に向けて、理事会を定期的に開催した。年間4回開催し、理事を中心としたイベントの運営体制の確立や活動の計画などを議論した。
- 事務局では、活動報告・会計報告に関して、書類を整理し報告にあたる。その他、運営・経理・広報などの事務局業務を随時行う。

D.1.3 会員関連

- 会員の呼びかけを進め、正会員数は35人、賛助会員数は6人となった。

D.1.4 記念活動

- 今年度は該当の活動を実施しなかった。

D.2　経理関係

D.2.1 一般会計

- NPO 法人会計基準協議会の定める NPO 法人会計基準に基づいた会計処理を実施した。

D.2.2 助成金・コンクール等申請関連

- 2020年度に向けた助成金の申請などを行う。
- 毎日新聞社主催の毎日地球未来賞に応募。SDGsに関わる取り組みをまとめ応募したが、残念ながら選外となった。

D.3　広報関連

D.3.1 ニュース発行関連

- 4・5・8 月を除く年間 9 回のニュース発行を実施。板橋区内の全保育園・小中学校や教育委員会・各種報道関係など、毎月約 3,300 部を発送した。

D.3.2 ホームページ関連

- オフィシャルサイトを定期的に更新し、イベントの案内や団体の周知を進めた。
- 特設ページ「SOE プログラムバンク」では環境教育のプログラムや資料などを発信した。
- Facebook ページに関しても、随時更新した。

D.3.3団体紹介

- センスオブアースの活動紹介資料を随時改定した。

D.4　渉外関連

D.4.1 協働推進関係

- 2017 年度からのエコポリスセンターの指定管理者変更を受けて、新管理者の板橋エコみらいプロジェクトの担当者と環境教育の協働や運営に関する意見交換を行う。計 5 回行い、速やかで発展性のある協働での出張授業のスタイルを作り上げることができた。